

## 体育・保健体育部 活動報告

### 1 活動のねらい

各校の体育科、保健体育科の取組や実践を紹介し合うことを通して、部員の授業力向上を図る。

### 2 活動内容

(1) 活動計画の立案 (5月18日)

(2) 中学校教師による小学校への出前授業及び参観

① 日時・会場 8月31日(水) 午後2時50分～3時35分(中条小学校)  
9月7日(水) 午後2時5分～2時50分(築地小学校)

② 授業者 中条中学校 金沢達也先生(8月31日)  
築地中学校 時田めぐみ先生・渡邊剛先生(9月7日)

③ 単元名 「陸上競技」

④ 概略

・楽しく体を動かす活動を多く取り入れながら、効率よく走ることにつながる運動を、いくつか子どもたちに伝えていただいた。股関節の使い方や足で地面を強く蹴る感覚を養う動きを紹介していただき、有意義な研修ができた。

(8月31日)

・短距離走におけるスタートの仕方について、いかに素早くスタートし、なめらかにスピードを上げていくかという動きを子どもたちに伝えていただいた。「位置について・用意・ドン」のそれぞれの姿勢やスタート直後の目標物のとらえ方、上体の傾きなどについて分かりやすく教えていただいた。(9月7日)

(3) 公開授業及び参観・協議

① 日時・会場 11月10日(木) 13時40分～16時30分(中条中学校)

② 授業者 中条中学校 山田 正人先生

③ 単元名 「バスケットボール」

④ ねらい

- ・チームの一員として作戦に応じたプレーを意識しながら、意欲的にゲームに参加することができる。
- ・チームで話し合い、対戦相手に応じた作戦を工夫してゲームを展開することができる。
- ・練習した個人技能をゲームで生かすことができる。

⑤ 概略

- ・前半ゲーム、後半ゲームの前に作戦タイムを設定することで、自チームや相手チームの動きについて具体的な意見交換ができていた。特に2回目の作戦タイムで、タイミングのよいパスや正確なシュートのためのアドバイスをしていた。
- ・上手な生徒ばかりが活躍するのではなく、その核となる生徒を中心に、一人一人がチームの一員として動いていた。ファウルが少なかったことも含め、よい人間関係ができていくことの表れであるといえる。



### 3 成果と課題

(1) 中学校の先生方が行う出前授業は、小学校の子どもたちにとっては新鮮であり、楽しみながら集中して活動することができた。その後の陸上大会へ向けた練習でも、学んだことを生かそうとして意欲的に取り組んでいた。

(2) 中学校の授業を参観して小・中学校で協議を行うことで、生徒指導上の配慮も含め有意義な意見交換をすることができた。

(3) 出前授業の参観は、2学期が始まって間もない時期のためか参加者が少なかった。実施日時を早めに決定して、参加者が多くなるようにしたい。